

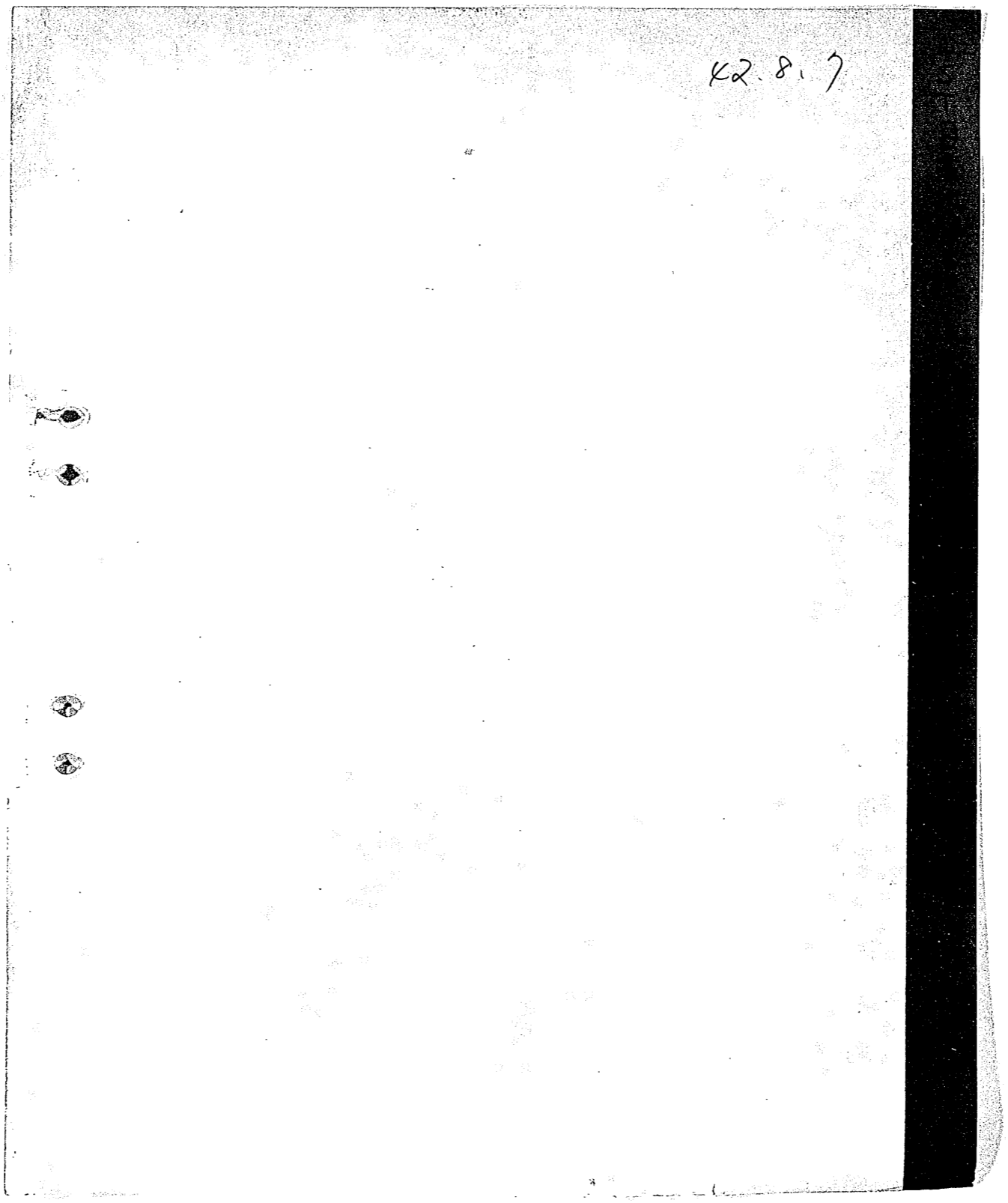


Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 一般重要案件(2)( LST日本人乗務員のヴェトナム戦火被災の噂 42.8.7   外務省外交史料館レファレンス番号 : H222762 )
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.4   公開日 : 平成23年2月18日   外務省外交史料館管理番号 : A'.3.0.0.7-1(241)   CD・DVD番号 : H22-017
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43793">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43793</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

K2.8.7

LST 日本人 平和 投 足 の 鳴 エ ト ナ ム 戦 火 被 災 の 鳴

K2.8.7



近藤 寛一  
南支那局長  
参事官  
北米課長

北米局長  
参事官  
北米課長  
秘

総南連第1906号  
昭和42年8月7日

總理府特別地域連絡局長 殿

那覇日本政府南方連絡事務所長

日本人船員乗組LST艇のヴェトナム戦火被災にかかわる  
事について

1 8月7日当事務所において開知した事によれば、同日3時頃那  
覇軍港に碇泊中のLST艇のうち1隻は乗組員全員日本人にし  
て、ヴェトナムと本土との間の軍需物資の輸送に当たっているも  
のであるが、当地寄港前に航海していたヴェトナム海域におい  
て戦火に巻き込まれ、相当の損傷を蒙った模様とのことであつた。  
その後、当地琉球新報記者が軍港外より望遠鏡で当該LST艇  
を観察したところによれば、同艇の船首に砲撃を受けた跡らしき  
くぼみ(大きさについては「相当大きなくぼみ」とリポートされ  
ているのみで詳細は不詳)が見られたが、これが砲撃であるとの  
確証はなく、また当該艇が同日6時頃自力で出港したこともあつ

て、上記噂は立消えとなつた。  
2 本件については、上記噂を調知後、直ちに所員をして高等弁務官情  
報調査官たるターロット大佐に事実の有無確認方調査依頼したとこ  
ろ、同大佐より関係軍当局に照会せるも、上記噂の事実はなき旨の調  
査結果が報告されおる趣回答した。

なお、同大佐によれば、6日那覇軍港に寄港ないし碇泊せるLST  
艇は3隻であつたが、そのうちの1隻は乗組員が全員韓国人で、残り  
の2隻については1部乗組員が日本人であるとの趣であつた。

3 本件噂は目下のところなんらの根拠を有せざるも、今後国会等で問  
題とされる可能性なしとしないので、取り敢えず御報告する。

本信事送付先 外務省北米局長

要	英	河	内
要	波	吉	津
要	田	中	吉
要	森	山	坂
要	和	川	崎
要	中	田	
要	橋	本	
要	黒	須	